

大宮市民局 NEWS

〈発行 大宮市民局〉



# おおみや トピックス

第10号



【 大宮町の人口 】

年齢	(人)
0歳～14歳	1,326
15歳～64歳	5,869
65歳～	3,011
合計	10,206

令和元年 10月末現在

## 第2回 大宮町避難所運営研修会

大宮町では今年度、口大野区が主体となり、近年頻発している大災害が当市で発生した時に備え、大宮町版の避難所運営マニュアルを作成する為、各区の区長及び自主防災会長向けに避難所運営研修（全5回）を実施しています。第2回目となる今回も、「地域防災」がご専門の龍谷大学政策学部の石原准教授を講師にお招きし研修会を実施しました。

第1回目では、熊本地震の避難所の事例を基に、地域主体の避難所運営の重要性や課題、避難所運営を効果的に進めるためのポイントの紹介



が行われました。第2回目は参加者を4つのグループに分け、避難所運営ゲーム（HUG）を実施し、避難所運営を疑似体験し、グループ毎に避難所運営の課題を報告しました。

今後のスケジュールとして、12月に第3回目の研修を実施し、2月2日には、大宮中学校にて、避難所運営訓練を実施する予定です。この訓練は、どなたでも参加可能ですので、興味のある方は大宮市民局までお問い合わせください。（大宮市民局：TEL 69 - 0712）



## 風物詩 平地地蔵の冬支度

毎年11月23日に行われる平地地蔵の「みの着せ」行事が今年も行われ、「平地地蔵」が冬の装いとなりました。「平地地蔵」は、大宮町上常吉区の平智山地蔵院の境内の一角に位置し、立像として京都府内1の大きさを誇ります。



この「みの着せ」行事は江戸時代から引き継がれており、令和となった現代でも、機材等を使用せず、総重量約60kgの藁で編んだ頭巾と蓑を、梯子と竹竿を使用し、人力のみで着せ込みます。冬季限定の装いを、皆さんも是非ご覧ください。

## 募集 大宮町の10年後を話し合おう 大宮町100人ミーティング

令和2年1月19日(日)開催

おおみや 100人 Meeting

大宮町の10年後について、みんなで話し合おう

1月19日(日) 10:00～16:00

京丹後市役所 大宮庁舎

参加費無料・要事前申込・託児可能

私たちのまち“大宮町”の10年先を考え、参加者自身で「いま何ができるか」を考え、話し合う場として令和2年1月19日(日)に『大宮町100人ミーティング』を実施します。

当日は、龍谷大学の学生が進行を務めます。このミーティングでは、町民一人一人の想いを共有し、未来を考えることを目的としています。詳細は12月10日分の全戸配布で配られたチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。